

議会だより ふたば

第130号
令和2年3月

発行：双葉郡双葉町議会
編集：双葉町議会報編集委員会
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19番地の4
☎ (0246) 84-5200 (代表)

令和2年1月11日～12日
ダルマ市



前沢女宝財踊り保存会



子ども樽神輿



双葉町相馬流れ山踊り保存会

主な内容

令和元年第4回定例会

- ・このようなことが決まりました… P 2～5
- 委員会調査報告書…………… P 6
- 要望書提出、令和2年第1回臨時会… P 7
- 議員研修・議会のうごき…………… P 8



が決まりました

【令和元年度一般会計補正予算】

歳入歳出それぞれ40億9,495万4千円を追加

総額 358億7,602万円

令和元年第4回議会定例会は、12月17日から18日までの2日間の日程で開かれました。21件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。内容は次のとおりです。

【契約の締結】

- 中田・観音堂線（宮田橋）改築工事請負契約
契約額 268,400,000円
相手方 田中建設株式会社
代表取締役社長 木下 弘行
- 双葉町産業交流センター備品（会議室・共用部分等什器）購入契約
契約額 24,475,000円
相手方 株式会社 まつもと
代表取締役社長 松本 定雄

【主な補正予算】～追加補正～

- 防犯灯交換等工事 1,014万4千円
- 双葉町商工会街路灯修繕等補助金 1,506万4千円
- 個人被ばく線量管理測定機器購入費 1,804万円
- 常磐双葉インターチェンジ案内標識設置委託料 638万9千円
- 津波ハザードマップ作成業務委託料 500万円

【条例の制定・一部改正】

- 双葉町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定
会計年度任用職員制度の創設に伴い制定
- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
会計年度任用職員制度の創設に伴い、関係条例整備のために制定
- 双葉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるために制定
- 双葉町防災会議条例の一部改正
防災会議の所掌事務及び組織の規定などを改正
- 職員の給与に関する条例の一部改正
国の人事院勧告及び福島県人事委員会勧告を踏まえ、住居手当の引き上げ、給料表の改正、勤勉手当の支給率 年間0.05月加算
- 職員等の旅費に関する条例の一部改正
地方公務員法及び地方自治法の一部改正及び成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に伴い、所要の改正を行うもの
- 双葉町産業交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
合筆による地番変更に伴う改正

**第4回
定例会**

12月17日～18日

このようなこと

【町道路線の廃止】

中浜地区海岸防災林事業並びに前田川河川災害復旧事業に係る町道路線を整備するため、道路法第10条第1項の規定に基づき廃止する

路線番号	路線名	起 点		総延長
		終 点		
104	久保前・中浜線	大字新山字久保前33-1	番地先から	3,336.7m
		大字中浜字南原31-1	番地先まで	
313	高田線	大字中野字渋江56	番地先から	230.0m
		大字中野字渋江239	番地先まで	
314	中浜線	大字中浜字南川原131	番地先から	135.1m
		大字中浜字南川原152	番地先まで	
315	東原1号線	大字中浜字南原27	番地先から	101.7m
		大字中浜字南原36	番地先まで	
316	東原2号線	大字中浜字南原1-4	番地先から	105.6m
		大字中浜字南原8	番地先まで	
317	東原3号線	大字中浜字南川原172	番地先から	108.5m
		大字中浜字南川原166	番地先まで	
430	西川原2号線	大字中浜字本町74-1	番地先から	122.9m
		大字中浜字本町63-1	番地先まで	

【町道路線の認定】

前田川河川災害復旧事業に係る町道路線を整理するため道路法第8条第1項の規定に基づき認定する

路線番号	路線名	起 点		総延長
		終 点		
114	久保前・中野線	大字新山字久保前33-1	番地先から	2,537.2m
		大字中野字渋江270-2	番地先まで	
520	中浜1号線	大字中浜字本町105-1	番地先から	675.9m
		大字中浜字南川原7-1	番地先まで	

議員発議

厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

このため、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。

しかしながら、本年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。

こうした中、地方議会議員が厚生年金に加入できるようになれば、民間会社の社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、老後や家族を心配することなく選挙に立候補できる環境が整うことになり、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月18日

福島県双葉町議会

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

看護師と介護従事者の全国を適用地域とした 特定最賃の新設を求める意見書

高齢化が進む中で、医療や介護の需要はますます高まることが予測されている。しかし、医療・介護の現場では、看護師や介護従事者の過重労働と人員不足が深刻化し、仕事を辞めたいと感じながら働いている職員の割合が看護師で75.2%、介護職で64.5%にも達しているとの調査報告が出されている。

介護職の賃金は、全産業労働者の平均賃金より約8万円も低く、「賃金が安い」ことが離職の大きな理由となっている。2009年度以降、国は介護職員の処遇改善策を行なっているが、実際には十分な改善につながっていない。

看護師・介護職の賃金水準が全産業平均よりも低いのは、同じライセンスでありながら働く地域・施設によって初任給の格差が看護師で月額9万円、介護福祉士で月額6万円にもなるような格差があり、それが原因のひとつと考えられる。そのために、低い水準の影響を受けて全体の賃金水準が上がらず、看護師・介護職の地域偏在や離職者増につながっていることは明らかである。

福島県では「2025年度の介護職員充足率」推計が74.1%と、必要数の4分の3に届かない状況にある。看護師・介護従事者の賃金底上げなど処遇の改善で人材を確保し、安全・安心の医療・介護体制を築くため、下記の項目について要望する。

1.医療・介護の深刻な人員不足を解消するため、看護師および介護従事者について、全国を適用対象とした最低賃金（特定最賃）を新設し、賃金の地域間格差の解消と底上げをはかること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年12月18日

福島県双葉町議会

(提出先) 厚生労働大臣

12月定例会の採決状況

件 名	議決結果
<専決処分>令和元年度双葉町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
双葉町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
双葉町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
双葉町防災会議条例の一部改正について	原案可決
職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
職員等の旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
双葉町産業交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
町道路線の廃止について	原案可決
町道路線の認定について	原案可決
双葉町産業交流センター建築工事請負契約の一部変更について	原案可決
常磐自動車道追加インターチェンジ整備に係る協定の一部変更について	原案可決
中田・観音堂線（宮田橋）改築工事請負契約の締結について	原案可決
双葉町産業交流センター備品（会議室・共用部分等什器）購入契約の締結について	原案可決
財産の処分について	原案可決
令和元年度双葉町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
令和元年度双葉町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
令和元年度双葉町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
令和元年度双葉町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書案	原案可決
看護師と介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書案	原案可決

委員会調査報告書

・総務教育常任委員会

双葉町公共施設等を調査(10月18日、11月11日)

委員長 高萩 文孝

副委員長 清川 泰弘

委員 尾形 彰宏 佐々木 清一

【報告の要旨】

- 役場庁舎については、既存の役場庁舎の使用不可について早急に決定し、今後の役場庁舎設置場所については、駅周辺や既存の公共施設の併用により、また住民に近い場所への設置が望ましい。役場の規模感については、「小さな町の小さな役場」が望ましい。建設費用は中間貯蔵施設設置等影響緩和交付金の用途変更により役場庁舎建設ができるよう国との協議・要望を行うこと。
- 教育施設については、幼稚園、各学校内にある児童・生徒の私物について、各人の手元に戻るよう計画をすること。各教育施設建物の使用の可否決定を行うこと。今後の学校施設計画については、子どもの帰還希望や予定を勘案しながら検討し、将来の子どもの数にもよるが、教育施設を1か所に集約することも検討をすること。
- 既存の学校施設、役場庁舎等の公共施設については、民間に貸与することも検討すること。

以上、要点を申し述べ報告とします。



高萩委員長

・産業厚生常任委員会

双葉町公共施設等を調査(10月18日、11月11日)

委員長 菅野 博紀

副委員長 石田 翼

委員 羽山 君子 岩本 久人

【報告の要旨】

- 家屋解体や除染が進むのと同時に 町内の上下水道の整備や配管整備などのインフラ整備を進めること。
- 双葉町コミュニティセンターについては役場機能の一部回復が行われる前にすべての修繕を終えること。
- 町道全般については町民の主要道路には中間貯蔵施設への輸送終了時期に合わせて、道路や歩道の整備に取り組むこと。なお、国道288号については道路沿いの立木の枝が伸びている箇所があり、通行に支障をきたしている所も見受けられ、中間貯蔵施設輸送トラックとすれ違う際の事故にもつながりかねないので、所管する部署との連携を図ること。

以上、要点を申し述べ報告とします。



菅野委員長

町へ要望書を提出

令和元年12月18日、総務教育常任委員会並びに産業厚生常任委員会による双葉町公共施設等の状況についての報告を受け、「双葉町の復興に関する要望書」を金田副町長に提出いたしました。

【要望の主な内容】

- 既存公共施設の使用可否決定
- 役場庁舎、教育施設の設置計画策定
- 中間貯蔵施設設置等影響緩和交付金の使途変更を国に要望すること
- 町内のインフラ整備の早期実施
- 中間貯蔵施設輸送トラック運行及び町民等の交通安全確保のため、関係機関との連携強化を図ること



要望書手交

令和2年 第1回臨時会

1月16日

- 町道路線の認定について
- 個人被ばく線量管理測定機器購入契約の締結について
- 令和元年度双葉町一般会計補正予算（第5号）

原案可決
原案可決
原案可決



第1回臨時会

◆ 福島県町村議会議員 研修会 ◆ ~1月27日~

令和 2 年 1 月 27 日、郡山市「ビッグパレットふくしま」において、県内町村議会議員を対象とした研修会が行われました。

【研修内容】

- 日本の政局・政治の行方
時事通信社 解説委員 山田 恵資 氏
- 町村議会議員の議員報酬等のあり方
明治大学政治経済学部地域行政学科長
牛山久仁彦 氏



福島県町村議会議員研修会

議会のういき

12 月

- 4日 双葉地方町村議会議長会議
- 9日 議会運営委員会・議会全員協議会
年末年始における事件・事故防止活動出動式
- 17日～18日 令和元年第4回定例会
- 21日 双葉中央アスコン火入式
- 23日 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会
- 26日 双葉地方水道企業団議会臨時会

1 月

- 3日 町成人式・賀詞交歓会
- 7日 双葉消防本部出初式
- 9日 双葉地方町村議長・事務局長合同会議
- 11日～12日 双葉町伝統行事ダルマ市
- 16日 令和 2 年 第 1 回臨時会・議会全員協議会
議会報編集委員会
- 27日 福島県町村議会議員研修会

2 月

- 7日 福島県原子力発電所所在町協議会要望活動
- 18日 議会全員協議会
- 21日 双葉地方水道企業団議会定例会
- 25日 福島県町村議会議長会定期総会
- 27日 減容化施設火入式
- 双葉郡町村議会議員研修会
- 28日 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会

編集後記

令和に元号が変わり初めての新年を迎えました。謹んでお慶び申し上げます。

今回の議会日より第130号は昨年12月定例会で決まりましたことなどを皆様方にお知らせいたします。

新しい年に向かって双葉町のまちづくりのために議会一丸となって取り組んでまいります。

皆様方のご意見・ご要望・ご感想などありましたらご一報いただきたいと思います。

本年もよろしくご一読いただきますとともに皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。
(石田)



編集委員会

【編集委員会】

- 委員長 尾形 彰宏
- 副委員長 高萩 文孝
- 委員 岩本 久人
- 委員 石田 翼